近年、多くの地方自治体において「環境問題に配慮し、人と自然が共生することを目指すまちづくり」 の自然特性と環境質を活かした人と環境に優しいまちづくり」といった課題への取り組みが求められているよう です。このような課題を解決する上でGISは大きな力を発揮するツールとなります。

本研修では、環境、まちづくりの分野に特化した地理空間情報、GISの活用技術を修得することができます。 地域の環境管理、環境に配慮したまちづくり等を担当する部署において、地理空間情報、GISの導入による業務 の高度化、効率化をお考えの皆様に最適な研修です。

■研修期間: A 平成23年6月22日(水)~7月1日(金)(10日間)[全期間]

B 平成23年6月27日(月)~7月1日(金)(5日間)「GIS操作(ArcGIS)のできる方対象]

■研修科目: A 講義13科目(19.5時間) 課題研究·GIS実習(30.5時間) 入校式等(2時間) 計52時間 B 講義10科目(15時間) 課題研究(15.5時間) その他(0.5時間) 計31時間

象:国、都道府県、政令市、特別区、市町村、独立行政法人、団体等の職員で、環境・まちづくり等 ■対

に係る業務担当部署において、GIS、地理空間情報を取り扱う者

員:23名(業務経験年数、事務系職・技術系職等は特に問いません。) ■定

費:テキスト、参考書籍等 約15,000円 食費 1,510円/日 寮費 1,090円/泊 ■経

■研修場所:国土交通大学校 小平本校(〒187-8520 東京都小平市喜平町2-2-1)

この研修の構成は

本研修は次の3本の柱で構成され、それらの相乗効果により最大限の効果 が上がるように工夫されています。

【講義・事例紹介】でGISの基礎知識と環境・まちづくりに係るGISの具体的活 用事例を学習する。

【GIS実習】で「ArcGIS」を実際に操作しながら、GISの機能について基礎から 修得する。

【課題研究】で、あるテーマに基づき、それまで学んだことを活用しながら、班 毎にGISでデータを分析、処理し、発表会で検討結果を報告する。

主な講師と講義タイトル

■武内 和彦氏(国際連合大学副学長(兼任)東京大学サステイナビリティ学連携研究機構 副機構長)

【地球と地域の環境 -人間と自然の共存-】

■中出 文平氏(長岡技術科学大学 環境·建設系 教授)

【地域計画とGIS -都市計画研究での活用-】

■山本 佳世子氏(電気通信大学大学院 情報システム学研究科 准教授) 【環境まちづくりとGIS】

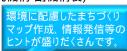
■一/瀬 俊明氏(独立行政法人国立環境研究所 上席研究員) 【温暖化と地域環境、まちづくり -環境地理情報の利活用-】

受講者の声(修了レポートより)

GISを使用する上での実務上のアドバイスなど、広範かつ直ちに業 務に必要な知識等を取得でき、非常に良い機会だったし、今後の繋 がりを持つこともできたのは極めて大きな収穫だった。

- 異なる専門分野の研修員と様々な面から意見交換できたのが非常に 印象的であり、このような場が得られるのも研修の大きな側面であ ると感じた。(以上国土交通省)
- 講義では、データをGISで立体的に捉えるとわかりやすくなること を学んだ。このことは今後の業務において、収集したデータの検証 に活かせると感じた。
- ■課題研究では実際にGISを使う際の課題等を体験でき、自分が考え ていた以上に成果があったように思われる。非常に有意義な研修で あったので、この経験を今後の業務に活かしたい。(以上自治体)

環境保全区域 開発制限区域 一般住宅地 地域開発計画マップ(イメージ)



主な講義内容・キーワード (一部予定を含む)

GISの基礎知識

GIS導入のポイント 地理空間情報 基盤地図情報 低炭素都市づくりとGIS ヒートアイランド現象と対策 自然と共生するまちづくり Web-GIS 情報発信·情報共有化 電子国土Webシステム 都市計画(土地利用)とGIS GIS・GPS・RSの活用 自然環境問題へのアプローチ 持続可能な社会の構築 地域循環圏の形成 流域循環・共生圏の形成 コンパクトシティの構築 行政地図情報提供システム Web-GISを活用した地域情報

提供·地域連携支援

課題研究発表会

公園緑地計画マップ

(イメージ)

課題研究(班別討議)

研修風景

[ご参考]国土交通省以外の受講者派遣元

公園予定地

埼玉県環境部環境科学国際センター 大阪府都市整備部総合計画課 奈良県土木部道路 · 交通環境課 鳥取県生活環境部衛生環境研究所 仙台市環境局環境部環境対策課 千葉市環境局環境保全部環境規制課 福岡市環境局温暖化対策部環境調整課 (独)土木研究所寒地土木研究所 (独)水資源機構長良川河口堰管理所 (財)日本測量調査技術協会

お問い合わせは

国土交通省国土交通大学校 測量部 〒187-8520 東京都小平市喜平町2-2-1 TEL 042-321-0957